

2024年 2 月 1 日 第2550回例会  
2 月第 1 例会

RI会長テーマ: Create Hope in the World  
「世界に希望を生み出そう」

本年度会長テーマ Build FUTURE  
「50年の過去に感謝し、50年先の未来を築こう」

## 「平和構築と紛争予防月間」

### ◆ 会長時間 ◆

諏訪(浩)会長

【平和構築と紛争予防月間によせて】  
ロータリーは自己教育運動です。



2月には国際ロータリーが定める「平和構築と紛争予防月間」です。平和構築、紛争予防という、とてもスケールが大きく感じますが、実は、もっと身近な事を含みます。

皆さん、我が国は平和でしょうか？悲惨な状況にある他国と比べると、とても豊かで平和な国だと思います。しかし、連日のようにDVや幼児虐待のニュースを聞いてはいませんか？ロータリーの平和構築は、このような身近で起こっている暴力をなくすることから始まります。もし、この地域社会で、暴力によって平和を奪われる方々がいるとしたら、何としても救済してあげたいと思い行動するのがロータリアンです。小さいことから始めればいいし、その結果、皆さんの「人に優しくする心」がもっと大きい世界的な救済に繋がります。

世界に目を向けると、状況は比べものにならないくらい悲惨です。世界はウクライナやガザ地区の紛争だけでなく、報道されていない紛争だらけです。タンザニアでは迷信による人身売買が行われています。今、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は7,000万人で、その半数が子どもだと言います。想像しただけで胸が熱くなりませんか？何とかしたいと思いませんか？

平和構築はロータリーの重要な使命です。そのためにロータリーとロータリアンが担う役割は4つあります。

まず「実践者」として、疾病、水と衛生、母子の健康、教育、地域経済の発展など、RIが掲げる他の重点分野に取り組むことは、実は平和構築ができる環境を作り出しています。

2つめに「教育者」として、世界に7つあるロータリー平和センターで平和フェローを育成し、彼らが政府や国際機関で平和構築に貢献しています。日本ではICU（国際基督教大学）に設置されています。

3つめに、「調停者」として、紛争地域でのポリオワクチン投与を可能にする人道的停戦交渉を行っています。

4つめに、「提唱者」として、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわっています。

あなたが一人のロータリアンとしてできることは何でしょうか？まず、以上のような役割を正しく理解することです。そして次に、皆さんがロータリーの自己教育で養った「人に優しくする心」を発揮します。助けずにいられないという熱い心を、まず身近なところから実践に移し、次に世界に目を向けて放流するのです。

実は草の根的なロータリアン個人の行動が長期的には世界平和に繋がるのだという確信を持っていただき、是非これからも皆さんのご協力をお願いいたします。

❏ ロータリー財団「ベネファクター認証状及び襟ピンの伝達、ポール・ハリス・フェロー認証状及び襟ピン、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー襟ピン」の伝達

ベネファクター



北村 和之 君



小田 清和 君

ポール・ハリス・フェロー



田原 真一郎 君



上野 彰彦 君

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



第1回 松岡 輝明 君



第2回 浜田 広 君



第2回 梶本 政明 君



第3回 児玉 裕志 君



第4回 川西 祐二 君



第4回 村上 健一 君



第4回 岡野 賢太郎 君



第6回 井原 俊彦 君



第8回 大本 和則 君

❏ ゲスト



米山奨学生 ヴェドリヌ ウィリアム 君  
次週入会予定 渡辺 勇作 さん

● 会務報告

吉田(大)幹事

❏ 2023年1月から12月の期間、ロータリー財団及び米山記念奨学会に寄付をされた会員宛てに確定申告用領収書が届きましたので、BOX配布しています。

❏ 熊平製作所よりご恵贈の「抜萃のつづり」をBOXに入れておりますので、お持ち帰りください。

❏ 例会終了後、4階「アマリリス」において2月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 委員会報告

❏ プログラム・出席委員会

出席報告 大地君

本 日 (2月1日・木曜日)

会員数	90名	出席者	74名
欠席者	16名	ご来客	0名
ご来賓	0名	ゲスト	2名
		計	76名

4週前の例会2023年12月21日・木曜日

出席率 100%



❏ 次年度鈴木幹事

次年度委員会配属表をBOXに入れております。ご確認ください。

## ● 会員記念日

🌸 2月お誕生日おめでとうございます。

(10名)

中村(哲)君	森信君	玉木君
片山君	小宇羅君	上田君
安原君	松田君	山縣君
亀田君		



● **スマイルボックス** SAA 中村(光)君

👤 川西君

経済レポート(赤)1月30日号に、(株)トータテリフォームセンターさんが、20日そごう広島店9階に「トータテリノバスタジオ」をオープンしたと掲載されていました。

店舗面積は198㎡で、ハイクオリティシステムキッチン、最新節水型トイレ、高機能洗面台、ユニットバスなど水廻り商品を中心に有名メーカーの住設機器を展示するほか、キッズコーナーを備える相談スペースがある。見て・触って・体感できるショールームと、住まいに関する総合サービスを展開するトータテグループならではの提案を行うそうです。ご出宝よろしくお願いいたします。

👤 荒谷君

経済レポート(赤)1月30日号に、中国地方整備局は先月12日、災害応急対策や防災活動に対する協力または支援等において、特に顕著な功績があった73団体に対し、「災害対策関係功労者」として感謝状を贈呈したと掲載されました。

昨年4月～9月に発生した災害が対象で、その中の1社に、荒谷建設コンサルタントさんが入っておられました。ご出宝よろしくお願いいたします。

👤 大地君

経済レポート(赤)1月23日号にANAクラウンプラザホテル広島さんが、1階ビュッフェレストラン「オールダイニング フリュティエ」の朝食ビュッフェで、瀬戸内エリア4県のご当

地料理や、地域特産食材を使った料理を提供していると掲載されていました。

広島は【小鯛の天婦羅とがんす】【穴子の茶碗蒸し】、岡山は【黄ニラの出汁巻き玉子】【梨カレー】、山口は【瓦蕎麦】【小ふぐの唐揚げ】、愛媛は【鯛めし】【今治焼き鳥】【ポンジュース】を用意しているそうです。

朝からお酒が飲めそうな内容ですが、ご出宝よろしくお願いいたします。

## ■ 1月25日(木) 職業奉仕部門クラブフォーラム

### ◆ フォーラム アンケート結果

経営理念を理解し、その理念に基づき事業活動をするということが奉仕の実践には重要であると思います。この経営理念にスポットをあて、企業活動における職業奉仕の実践についてお聞きします。

質問① あなたの会社では、経営理念について話し合いの場を設けた事がありますか？

ある(32)名 ない(24)名

質問② その経営理念は、従業員に周知されていますか？

はい(18)名 ない(8)名

新入社員に説明、朝礼で唱和、常に話をしている

質問③ その経営理念が企業活動に発揮されていますか？

はい(39)名 ない(5)名

質問④ あなたから見て、従業員はその企業活動に対し共感を持たれていると感じていますか？

感じる(44)名 感じない(12)名

質問⑤ あなたから見て、従業員はその企業理念を理解し、職業奉仕活動に貢献していますか？

している(19)名 わからない(34)名

していない(1)名

質問⑥ 現在どのような形で職業奉仕活動(あなたの思い)を従業員に伝えていますか？

社員総会、研修会(新人、中途採用者)、日常業務の中で、会議、機会がある都度、社長方針、発表会、四つのテストに基づいて理念を伝える

今回の質問への回答につきましては、正解・不正解はありません。ご自分や皆さんの回答をもとに、今後の職業奉仕の実践についての考えるきっかけやヒントにさせていただけると幸いです。ご協力ありがとうございました。

### ● 卓話予告

日時	テーマ
2/15(木)	「スポーツを通して支えていただいた方への感謝」 中田 廉 様 (元 広島東洋カープ投手)

### ■ 会長卓話



#### 諏訪 昭浩 会長

ロータリーは自己教育から始まる個人奉仕を基本としています。つまり、クラブではなく、私たちロータリアン一人ひとりが、どのような人生を歩むかを探求して実践する場がロータリーです。そして、そのような個人の自己教育をサポートするのがクラブです。

しかし、本来は良いロータリアンを育てるといふ教育的機能を持つロータリークラブが、この数十年の「面倒なことは避ける」という風潮の拡大によってその機能を軽視する傾向が続いているため、クラブが提唱する奉仕活動をするだけがロータリーだと勘違いし、自己教育を怠る会員が増加しています。

ロータリーの奉仕の原点は個人が行う小さな優しさです。何かしてもらったら「ありがとう」と言えること、すべての会員に仲間として接すること、相手の主義主張を尊重し、少数派を受け入れること、すべて私たち個人ができる小さな優しさです。このような、個人が行う小さな事が、ひいてはロータリーの究極の目的である世界平和にも繋がっていくのです。

ここで今一度、ロータリーとはロータリアン一人ひとりの活動の集大成であること、ロータリアン個人が主役でありクラブはそれを支える脇役であるということを、しっかりとご認識いただけれ

ばと思います。

#### 1. ロータリーを理解するための3つの「視点」

ロータリーを理解するのに必要な「視点」が3つあります。それは、「個人」「クラブ」「RI」、この3つです。

「個人」という視点は、ロータリアン個人の自己教育、ロータリーの奉仕概念の理解を含みます。これについては1回目の会長卓話でカバーしましたが、今日はその内容を少し補足します。

2つめの視点は「クラブ」です。個人が主体であるロータリーにおいて、個人を支える脇役がクラブです。そのようなクラブを理解する上で重要なことを今日はご紹介します。

3つめは「RI」です。これは、個人を超え、クラブの枠を超え、その外に広がっているRIを含むロータリー世界全体のことです。今日は特にRIの目標、動きについてお伝えします。

#### ロータリーを俯瞰する

##### 視点2 クラブ

- ・教育的機能
- ・管理運営(定款細則)
- ・社交クラブ

##### 視点3 RI

- ・世界最大のNPOを目指す

##### 視点1 ロータリアン(個人)

- ・自己教育
- ・ロータリーの奉仕概念 ロータリーの歴史(過去から現在が見える) など

#### 「個人」という視点

ではまず、1つめの視点「個人」について、前回の内容を補足します。今日は、個人が受諾し実践すべきロータリー哲学について先人たちが残した、自己教育の拠り所となる貴重な文献についてお話しします。

ご存じのようにロータリーはシェルドンがロータリーに持ち込んだ、利己と利他の調和を柱とする「職業奉仕」が独自の奉仕概念であり、ロータリーの存在意義と言っても過言ではありません。しかし、シェルドンがロータリーに持ち込んだのは、とっつきにくいマーケティング理論でしたから、これを一般奉仕概念としてロータリー世界で普及させるには、もっと具体的な事例を含む、わかりやすいテキストが必要でした。そこで、先人たちは、一所懸命この解説を試みました。

その代表的なものが2つあります。まず1915年のサンフランシスコ大会で決議された「ロータリー

倫理訓」、これは「ロータリー道徳律」とも言います。そして、これをもとにして翌1916年にガイ・ガンデイカーが著した「ロータリー通解」、これは「ロータリーの友」に漫画で掲載されていましたのでご存じの方も多いでしょう。

「ロータリー倫理訓」は、私たちが属する資本主義社会において、その原則である「自由競争」と「協調の原理」とが同時に成り立つものであるという、ロータリーの奉仕哲学を職業生活に適用したものです。1930年代のアメリカにおける経済恐慌においても、ロータリアンの企業の多くが倒産をまぬがれ、しかも倒産者の救済まで行えたのは、この倫理訓に基づくロータリー的経営があったからです。

しかし残念なことに、一部内容が宗教的であるとの批判があり、RIはその釈明に追われ、それに疲れ、1980年の規定審議会でも細則から削除されて現在に至ります。今日は、わかりやすい日本語にして読んでみます。

#### ＜全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓＞

自分の取引やすべての関係においては、常に、社会の一員としての義務を考慮しなければならない。職業生活のすべてにおいてこれを励行し、それが完了したときには、自分の人間としての理想が当初より向上していなければならない。この見地から、国際ロータリーの商業倫理訓の基本は次に掲げる原則となる。

1. 自分の職業に価値を認め、社会に奉仕すべき絶好の機会であると考えること。
2. 自分の身を修め、実力を養い、奉仕を広めること。そしてそれを通じて奉仕に徹する者に最大の利益があるとするロータリーの基本原則を実践すること。
3. 自分は企業経営者であり、したがって成功の野心を抱いていることを自覚すること。だが、自分は道徳を重んじる人間であり、最高の正義と道徳に基づかない成功は望むべきでないことを自覚すること。
4. 自分の商品、労働、アイデアを金銭と交換するときは、全当事者が利益を受けて初めて、適法かつ道徳にかなうものであるとの信念をもつこと。
5. 自分の従事する職業の水準を向上させるため最大の努力をほらい、そのようにすれば幸福

の道が開けることを同業の者に知らせること。

6. 同業者と同等かそれ以上の完全なサービスを尽くすような方法で企業経営を行うこと。また、もし完全なサービスかどうか疑念がある場合には、責務上必要な範囲を超えてもサービスを行うこと。
7. 専門職業にたずさわる者、または企業経営者の最大の資産は、一つはその友人であることを理解すること。また友情に基づいて手に入れたものこそ倫理的で正当なものであることを理解すること。
8. 真の友人は互に何も要求するものではなく、利益のためにみだりに友人の信頼を利用することはロータリーの精神と相容れないし、倫理訓に反するものと考えること。
9. 社会秩序の立場から認めないような不正な方法によって他人が得た成功を正当なものと考えてはならないこと。また、物質的成功を得るため、倫理的に問題があると思われる機会に乗ずるようなことをしてはならないこと。
10. 自分は一般人に対して負う以上の義務を同僚ロータリアンに負うものではない。これは、ロータリーの真髄は競争ではなく協力であるからであり、また党派心はロータリーのような制度においてはあってはならず、かつ人権はロータリーの内部に限られるものではなく、人類そのものの存在と同程度のものであることをロータリアンは主張するものだからである。ロータリーはこの高い理想に向ってすべての制度に属するすべての者を教化するために存在するものである。
11. 最後に「すべての人にしてもらいたいと欲することを人に対して行うべし」という黄金律の普遍性を信じ、われわれは、地上の天然資源がすべての者に均等な機会として与えられてこそ、人類社会は最良の状態となるべき事を主張してやまないものである。

お気づきのように、これを簡素化したのが現在の「ロータリアンの行動規範」です。しかし、簡素化しすぎると逆にわかりにくくなるもので、「ロータリー倫理訓」の方が具体的でわかりやすいのではないかと思います。

次に、ガイ・ガンデイカーの「ロータリー通解」ですが、これは先ほどの「ロータリー倫理訓」を基に書かれた、当時のロータリークラブ会員向け

の「ロータリー入門」です。100年前、このようなロータリーのテキストをまとめた先人の努力と、それを使って必死にロータリーを学び実践した先人たちがあってこそロータリーは現代まで生き残りました。これからロータリーが存在し続け、更に発展するためには、私たちが同じようにロータリーを学び伝承していかなければなりません。是非、ロータリーを学ぶことが自分のため、そして将来のロータリーのために必要なのだということを強くご認識いただきたいと思います。

さて、この「ロータリー通解」は30年前に小堀憲助が日本語に訳していますが、訳者まえがきにはこのように述べられています。「第二次大戦後の素晴らしい発展を遂げた日本のロータリーはその会員の数の増加に伴う質の向上の問題と取り組まなければならないと思うが、質の向上のためには、やはり正しいロータリー情報の正しい普及が必要であると思う。ガイ・ガンデイカーのパンフレットは、今までロータリーにさした生きがいを見出しえなかった人達に反省の機会を与え、ロータリーの説く『職業奉仕』が各会員の自己改善の出発点を提供し、それがひいては職場に夢と潤いを与え、各自が正当な利潤と幸福とをえて、やがて職場の潤いが社会全体のうるおいとなるものと確信して、あえてこれを日本語にしてみようと思った次第である。」

「ロータリー通解」は、これまで何となくロータリークラブの会員であった方々に、「これではいけなかったのだ」と気付かせ自己教育を始めるきっかけになると考えています。

ロータリーは難しいと言われるますが、実は非常に簡単で、必要なのは「古いから」とか「難しそうだから」「面倒なことはいやだ」と否定しないで、チョットその扉を開けてみることだけです。せつかくロータリーに入会されたのですから、是非その扉を開けていただきたいものです。

今日は「ロータリー通解」の一部を引用してみます。

まず、「ロータリーは上辺だけの人間を作るものではなく、人間の体質改善を行うものである。ロータリーの内部で体験を積むことによって、人はロータリアンとなるのである。」これはまさに、ロータリーは自己教育運動であることを述べています。

例会プログラムについてはこのような記述があります。「ロータリーの会合のプログラムにふさわしい、心のこもったレセプションも結構である

が、幾つかのクラブでいつも会員の入会、退会が相次ぐのは、ロータリーの会合に出席する価値がないことによるのだという点も、クラブ役員たちは忘れてはならないのである。娯楽的行事よりも、できるだけ、教育的かつ企業経営的行事を優先させるよう心がけねばならない。」これはバランスということだと思いますが、できれば例会卓話は、ロータリー教育と企業経営に役立つものをバランス良く取り入れるべきということでしょう。

### 「クラブ」という視点

さて次に、2つめの視点であるロータリークラブについてお話いたします。

ロータリークラブは、ロータリーの哲学を受諾して実践することを約束した人が集い、自己教育を行うと同時に、そこで得た奉仕の心を外の世界で発揮し、究極的には世界平和を目指すものです。ロータリークラブは社交クラブとして誕生しましたが、今ではただの社交クラブではありません。そのようなロータリークラブの最大の機能はロータリアンを育てる「教育的機能」だと言われています。もし、クラブが会員教育を怠って「教育的機能」を失えば、「やれと言われる奉仕を時々する地元の偉い人が集まった仲良しクラブ」となって、もはや「ロータリーでなくてもいいではないかクラブ」になってしまいます。

大事なことは、主役は個人たるロータリアン、団体たるクラブはそれを支える脇役であるということです。クラブという脇役が団体奉仕を進めるあまり主役になってはならないし、主役に必要な情報を提供できない脇役ではいけないのです。

また、クラブはRIに対して自治権を持ちますが、誤解してはならないのは、自治権を持つからと言ってRIへの協力をおろそかにしたり、最近ではクラブを戦略計画に基づいて運営するなどのRIの推奨方針を無視することは、RIの加盟クラブとして決してあってはならないということも申し添えます。

### 「RI」という視点

では最後に、3つめの視点、RIを含むロータリー世界全体のお話をいたします。クラブは自治権を持っていて、RIはクラブに対していかなる命令も行うことはできませんが、それが最近崩れようとしています。近年RIは世界最大のボランティア団体になろうとしていて、そのためにRIは理事会でこっそり、とんでもないことを決めてしまうことがあるという話は会長時間でもお伝えしましたが、実は今、ロータリーを一変させてしまう100年に

1度の大変化の企てが進んでいます。

皆さんはSRFをご存じでしょうか。広島中央ロータリークラブでは2021年1月に田原パストガバナーが会員卓話でSRFについて説明されていますが、残念ながら当クラブではお伝えすることがなかったため、ほとんどの方はご存じないのではないかと思います。

RIは、ライオンズやソロプチミストなど他団体を取り込んで、世界最大のNPOとなることを目指しています。そのための環境整備を総じて「ロータリーの未来形成」(Shaping Rotary's Future)、略してSRFと呼びます。RIが2020年に公表した草案によると、2024年からパイロットプログラムを実施して、2030年頃に最終的に判断されます。それは今年から始まるのです。

今回の草案には改革の目的と詳細についての説明がないため大きな混乱を招いていますが、全体像を理解するために、まずRIが世界最大のNPOとなるために何をしてきたか振り返ります。これらは20年前から、特に2019年頃から始まっていて、全て今回のSRFに繋がっていきます。その後で、今回公表された草案に触れます。

まず、2004年、RIはRI定款を改訂し、RIの目的に、「ロータリーの綱領を推進するようなプログラムや活動を追求しているRI加盟クラブやRI地区を支援すること」という記述を加えました。これは、RIが今後SRFを進めるにあたって、クラブや地区に具体的な活動を「指示」するための条文だと考えられ、ロータリークラブの自治権を侵害する可能性があります。本来、RIは奉仕活動を奨励できますが、自治権があるクラブに対してこれを強制することはできないわけですが、ポリオプラスのように、表向きは奨励といいながら実は強制的であるという矛盾に満ちた例もありました。この条文は、RIが奉仕活動等を強制できる可能性を示唆しています。

次に注目すべきは、事務総長の権限拡大です。2019年10月のRI理事会は、事務総長の権限を拡大し、RI理事会に代わって決定を行う権限を与えました。現在の事務総長はジョン・ヒューコです。この権限の大幅な拡大によって、これまで単なる事務方のトップに過ぎなかった事務総長が、RIの最高執行責任者となったのです。任期も事実上無制限まで拡大されました。RI会長は任期1年、RI理事は2年しかリーダーシップを発揮できませんが、そのような短い任期ではRIが目指す世界規模

のボランティア活動をリードすることはできないという理由で、強力な権限を事務総長に集めてロータリーを支配させようとしたのです。因みに、600名のRI事務局員は有給で、そのトップである事務総長の年俸は数千万円だと言われていますが、RI会長以下、RI役員は全て無給です。

さて、このような大きな変化を経て、今回SRFの草案が公開されました。これは驚きの内容ですからよくお聞きください。

草案では、ロータリー全体の組織改革として、地区、ガバナー、ガバナー補佐を廃止すること、そして世界のロータリーを20から40の「リージョン」に分割してそれぞれに3年任期の「カウンシル」を置くこと、各リージョンを更に「セクション」に分割して2年任期の「リーダー」を置くことが提案されています。日本はリージョン1という、たった一つのリージョンとなり、100から120のセクションに分割されるということですが、日本はパイロット地区に入っていません。2030年頃から現在のガバナー制度がなくなり、新しいやり方が始まる可能性があるのです。

この草案に関しては、より詳細な情報がなければ判断できませんので、かつてCLP(クラブリーダーシッププラン)が推奨されたときに、多くのクラブが拙速に飛びついた時のようなことにならないよう、しばらくは静観し、憶測に基づいて動くことがないようにしなければなりません。そして、クラブの運営は、理事会が十分な情報を得て、それを基に判断して行うことが必要です。

さて、SRFに関連する最近の変化について補足しておきます。

SRFを進めるには資金が必要です。そのため、RIは世界最大のNPOとなるために大幅でなりふり構わない会員増強策を進めています。現在ロータリアンは120万人弱、2020年からは、これに20万人のローターアクターが加わって会員数は合計140万人とされていることは、地区大会などの報告で皆さんご存じだと思います。RIはこれを200万人に増強する目標を定め、特に若年層の取り込みを図っています。

RIの調査によると、新しく入会した奉仕活動に積極的な若年層と、伝統を重んじる古い会員が交流しにくいことがわかり、このような「老害」を及ぼす会員は退会を促すという結論にも達しています。また、人頭分担金を減額して家族会員という身分を作って会員のパートナーや子息の入会を

促しました。これは「平等」というロータリーの伝統的な精神に反するものです。

20万人のローターアクターにロータリアン同様の権利を与えたことは先ほどご紹介したとおりですが、今後は、ライオンズやソロプチミストなど他団体の会員も取り込もうとしているものと思われます。このような会員増強策によって、ロータリークラブは経営者だけでなく今では誰でも入会できるクラブになりました。

2019年には「グローバル会員」の制度ができ、ロータリークラブには入会したくないが奉仕を進めるロータリーのネットワークには加わりたいという若年層を狙ったものです。

ロータリーはもともとピューリタニズムの影響を受けたポール・ハリスが創設し、WASPと呼ばれる白人層の支持で拡大し、職業奉仕によって社会のためになろうとする保守的なロータリアンが大多数でした。しかし、このような規制緩和によって、そうではない人が入会するようになり、保守的ロータリアンがロータリーに愛想を尽かして退会する傾向が生まれており、これは今後益々進むと思われる。そして、このままでは、ロータリーは、伝統よりもボランティア活動を重視し、DEIを尊重する若年層が中心となっていくことが予想されます。そうなれば、将来のロータリーに職業奉仕の概念は存在せず、クラブはDEIに基づきボランティア活動に興味がある方なら誰でも入れるクラブになるでしょう。

## 2. クラブの将来のために会長として思うこと

皆さんは、わがクラブが50年先にどんなクラブになってほしいと思うのでしょうか。前回の会長卓話で申し上げたとおり、僕は、色んな考えの方が存在するのが良いクラブだと思っていますが、このような少数派となりつつある流れがある現在だからこそ、クラブにおいては、伝統的なロータリー哲学を伝え、会員の自己教育を支援する事が必要だと考えています。そこで今年度は、会長時間、会長卓話、研修など、そのための施策を講じておりますが、クラブの中にロータリーを真剣に語り合うお仲間は少なく、楽な方に流れ、面倒

を避けるという大きな流れにあらがうことは、無理なことかもしれないと、諦めてもおります。近年はロータリーに対する情熱が薄れたのを感じていますから、僕も先ほど申しました、消え去る運命の「保守的ロータリアン」なのだろうと自覚しています。ただ、今年度、他クラブの依頼で4回、卓話をしましたが、その理由は「ロータリーの話が聞きたい」ことでした。他クラブにロータリーをわかろうとするリーダーがいること、また、いつも語り合っている、伝統を守ろうとするロータリアンが全国に大勢いることを一筋の光のように感じ、かろうじてロータリアンを続けていますが、今年度は精一杯できることをやりますが、次年度以降は黙っていようと思います。

50年先まで生きてないからどうでもいいなどと無責任ではられないのです。正確なロータリー情報をもとに今、全員が真剣に考えてこそクラブやロータリーの発展があります。タイムリーな情報がクラブに入り、会員に伝わる仕組みをしっかりと持たなければいけません。そのためには、たとえば週に15分、My RotaryのRI理事会議事録その他を見るだけでいいのです。そういう役割を誰がこなすのかと言えば、クラブではロータリー情報委員会と言うことになりますので、委員会の皆様のこれからのご活躍に期待しています。また、その委員会に属さない皆さんも、ロータリーは適材適所ではなく順番に役割が回ってくる世界ですから、役割につくまでに、週に15分のMy Rotary閲覧を続けていただくようお願いいたします。正しいロータリー情報を持っていない理事が目くら判を押すような運営が仮にあったとしたら、クラブは衰退していくでしょう。

最後に、皆さんがロータリーで自己教育をされて視野の広い素晴らしいロータリアンになれることを心から祈ります。そして我がクラブが、会員を教育するというクラブの責務を全うし、RIの戦略計画に沿うしっかりしたクラブ戦略計画に基づいた継続性のあるクラブ運営を続け、気品ある伝統を維持発展させてほしいと願い、最後の会長卓話を終わります。

**広島西RC** **検索** 

例会日・木曜日 12:30~13:30  
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島  
会 長 諏訪 昭浩  
幹 事 吉田 大蔵

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870  
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp  
作 成・会報雑誌・広報委員会